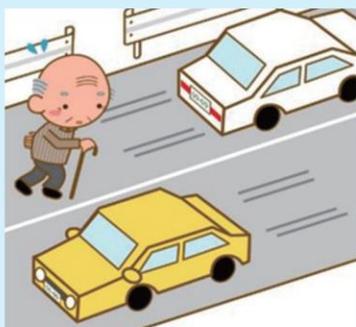


# 交通安全ガイドブック (高齢者編)



## よくおこる交通事故を知る

### 1. 横断中の事故



### 2. 自転車の事故



### 3. 交差点の事故



### 4. 夜間・薄暮の事故





# 事故にあわないために 大切なこと

## 危険です! 「自分は大丈夫」

遭おうと思って事故に遭う人はいません。自分は大丈夫と思わず、自分は気をつける!



## 横断中は特に注意!!

曲がってくる車やルールを守らない人がいるかもしれません。油断しないで安全を確認しましょう。



## 一時停止はしっかり確認を

基本に戻って、

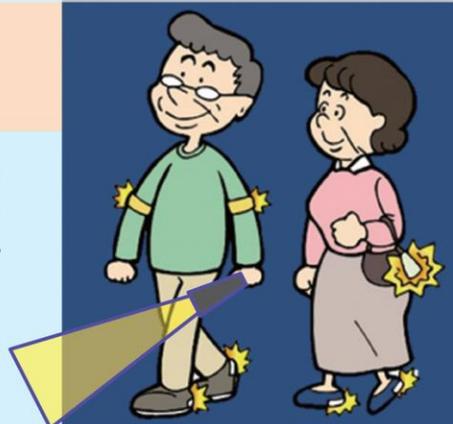
「とまる・みる・まつ」

しっかり確認することが大事です。



## 反射材などの有効活用

日頃から反射材の活用を心がけましょう。またライトは前を照らすだけでなく、相手に自分を見つけてもらう役割もあります。

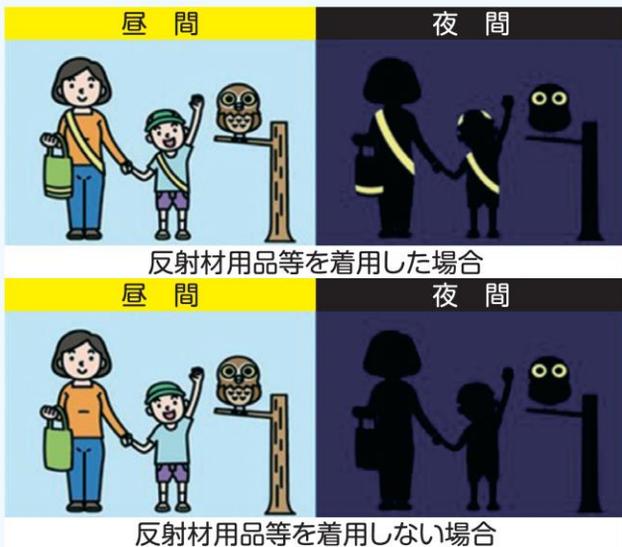


# ④ 夕方、早朝は特に危険！

## 【油断大敵！】

夕暮れ時はアツという間に暗くなります。

自分からは見えていても、周囲からは意外にあなたが見えていません。「相手が自分に気づいていないかも」という意識を持ちましょう。



反射材  
つけて安心  
暗いみち

## 【次のことを心がけて！】

☆ 自分の存在を知らせる

- ・ 明るい色の服装
- ・ 反射材の活用

☆ できるだけ明るい道を通る



前頁の問の答えは1、2どちらも「同じ」が正解です。

### ③ 危険! 「自宅近くの交差点」



#### 【事故の多くは自宅近くで発生!】

慣れた道ほど「車は来ないだろう」、「大丈夫だろう」と油断しがちです。

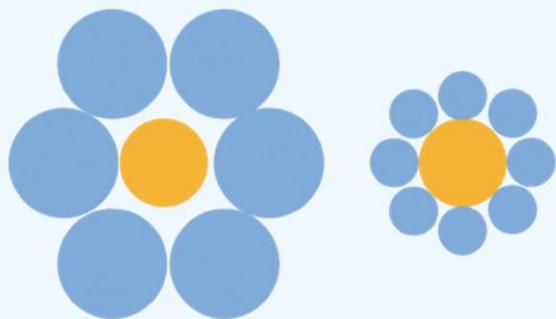
特に交差点では、しっかりと「止まる・見る・待つ」を意識しましょう。

チェック!

思い込みは事故を招きます。下の図で目の思い込み(錯視)を試してみましょう。

(答えは次ページ右下)

1. 黄色の○、  
どちらが大きい?



2. どちらが長い?



## ② 事故につながる自転車運転

### 【こんな運転してませんか？】

- ① 一時不停止、信号無視
- ② ふらつき運転 (傘さし・荷物の積み過ぎ等)
- ③ 無理な横断
- ④ 車道の真ん中走行



こんな運転をしていると**交通事故に遭い**、骨折などの大ケガだけでなく**死亡事故になる場合もあるんだって**……。

自転車の交通ルールはしっかり守らなくちゃダメね……。



### 自転車を利用する前に……

体力や反射神経は衰えてきます。「大丈夫」と思っている人ほど油断から大きな事故につながる恐れがあります。

体調や体力に不安がある場合は、**自転車の利用そのものを控えましょう。**



# ① 道路横断中の事故が多いわけ

## 【なぜ交通事故になるのか？】

- ① 若い頃のように機敏に動けない  
(運動機能の低下)
- ② 車との距離感がつかめない  
(視認機能の低下)

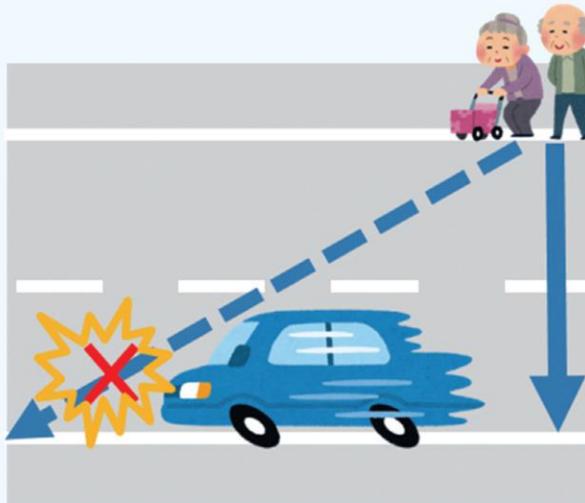
さらに・・・

- ③ 斜め横断で車道にいる時間が長くなる  
つまり、危険な時間が長い！



その結果・・・

道路を渡り終える直前の事故が多く発生！



できるだけ信号のある横断  
歩道を渡りましょう